

2019年4月26日

経済レポート

関西のインバウンド消費(2018年10-12月期、2018年暦年)

～2018年の関西のインバウンド消費額は増加が続くも伸び率は鈍化～

調査部 主任研究員 塚田裕昭

- 日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年確報）」をもとに、地域別訪日外国人数、インバウンド消費額を推計した。
- 2018年10-12月期に関西を訪れた外国人数は前年比+4.3%の317万人と推計され、関空閉鎖の影響でマイナスとなった7-9月期から再び増加に転じた。
- 同期の関西でのインバウンド消費額は前年比+11.2%の3,362億円と推計され、こちらも増加に転じた（ただし、前年比については、統計の取り方の変更により単純な比較はできない）。
- 同期の関西での一人あたり消費額（消費単価）は、10.6万円と推計される。
- 2018年に関西を訪れた外国人数は前年比+2.8%の1,241万人と推計される。これまで前年比2桁増を続けてきたが、9月の関空閉鎖の影響もあって伸び率は大幅に鈍化した。
- 同年の関西でのインバウンド消費額は前年比+5.8%の1兆2,275億円と推計される。
- 同年の関西での一人あたり消費額（消費単価）は、9.9万円と推計される。

		2018年10-12月期		2018年暦年	
			(前年比)		(前年比)
関西	訪日外国人	317万人	+4.3%	1,241万人	+2.8%
	インバウンド消費額	3,362億円	+11.2%	1兆2,275億円	+5.8%
	一人あたり消費額	10.6万円	+6.6%	9.9万円	+3.0%
日本全国	訪日外国人	772万人	+3.1%	3,119万人	+8.7%
	インバウンド消費額	1兆1,730億円	+2.9%	4兆5,189億円	+2.3%
	一人あたり消費額	15.2万円	-0.2%	14.5万円	-5.9%

(注1) 関西はMURCの推計値、全国は政府観光局、観光庁の公表値

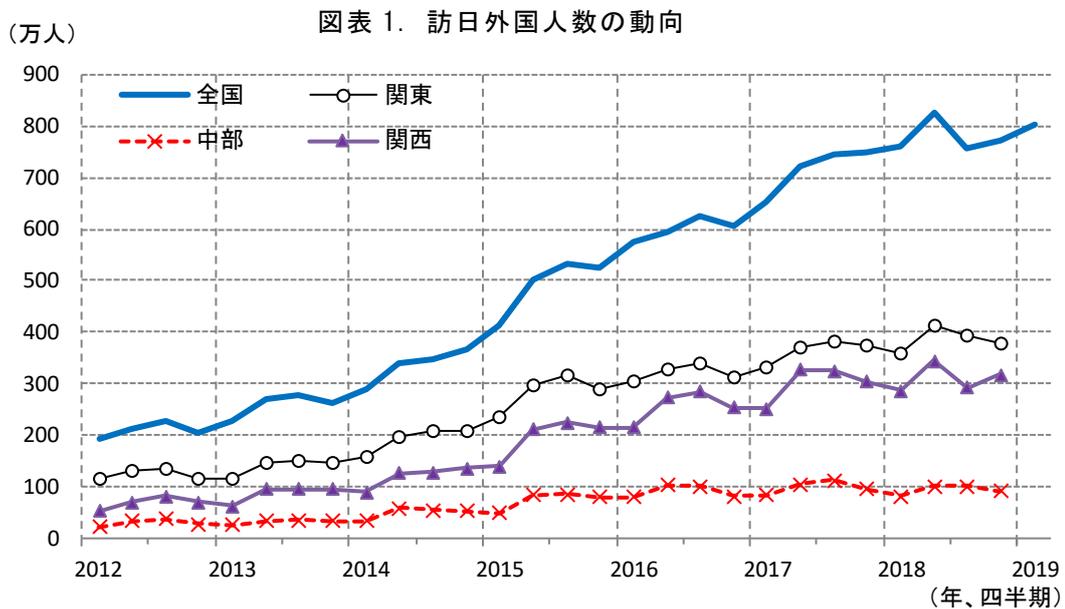
(注2) 全国の19年1-3月期の訪日外国人数は805.4万人、インバウンド消費額は1兆1,182億円
 (訪日外国人消費動向調査19年1-3月期:1次速報)。同期の地域別結果推計のための基礎データは、19年7月の2次速報で公表となる予定。

1. 2018年10-12月期の関西のインバウンド消費（四半期の動き）

（1）訪日外国人数の動向

関西を訪れる外国人の数は、増加基調で推移している。日本政府観光局公表の訪日外客数（2018年10-12月期：772万人）に、観光庁「訪日外国人消費状況調査」の地域別訪問率を乗じて地域別の訪日外国人数を算出すると、18年10-12月期に関西を訪れた外国人数は317万人と推計される。関西への訪問率は41.1%と、訪日客の4割強が関西を訪れた。

同期に関西を訪問した外国人数を府県別に見ると、滋賀県5.4万人、京都府211.0万人、大阪府292.1万人、兵庫県47.2万人、奈良県73.7万人、和歌山県10.1万人と推計される。



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。全国は観光庁公表値。

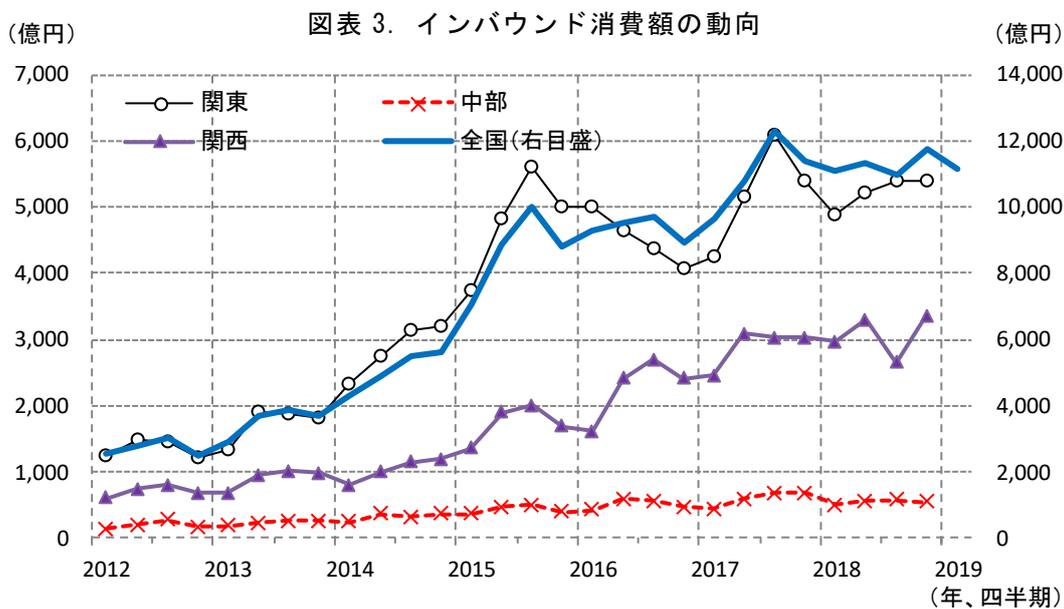
図表 2. 訪日外国人数の動向（府県別）

(単位)	2017年		2018年							
	10-12月期		1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期	
	実数 (万人)	前年比 (%)								
滋賀県	3.7	-2.7	4.6	35.8	5.9	-28.6	4.7	71.8	5.4	45.3
京都府	183.6	11.7	178.6	11.7	222.9	10.0	191.2	-2.1	211.0	14.9
大阪府	279.5	21.8	271.2	14.8	316.6	7.3	262.2	-12.8	292.1	4.5
兵庫県	36.0	-0.2	45.7	19.1	53.4	21.1	41.2	3.9	47.2	31.3
奈良県	48.7	19.6	57.5	32.0	78.2	40.5	69.8	13.8	73.7	51.3
和歌山県	9.0	52.0	6.8	23.6	10.6	7.5	8.2	-13.1	10.1	11.9
関西地区	304	20.3	287	13.9	344	5.4	292	-10.0	317	4.3
関東地区	372	18.8	360	8.4	412	11.1	395	3.3	378	1.6
中部地区	94	17.0	80	-2.5	101	-2.7	101	-9.1	91	-3.5
全国	749	23.6	762	16.5	828	14.7	757	1.8	772	3.1

(注) 旅行者が複数府県を訪問した場合は各府県でカウントされるため、2府4県合計値と関西の数は一致しない。

(2) インバウンド消費額の動向

地域別のインバウンド消費額は、前節で求めた地域別訪日外国人数と「訪日外国人消費動向調査」にある地域別消費単価（旅行中支出）をもとに推計した¹。2018年10-12月期の関西のインバウンド消費額は前年比+11.2%の3,362億円と推計される（ただし、前年比については、統計のとり方の変更により単純な比較はできない）。府県別では、滋賀県22.8億円、京都府797.7億円、大阪府2,307.0億円、兵庫県155.3億円、奈良県50.7億円、和歌山県28.5億円と推計される。大阪の消費額は、7-9月期の大幅減から再び増加に転じたが、伸び幅は過去と比べると小幅にとどまっている。



図表 4. インバウンド消費額の動向（府県別）

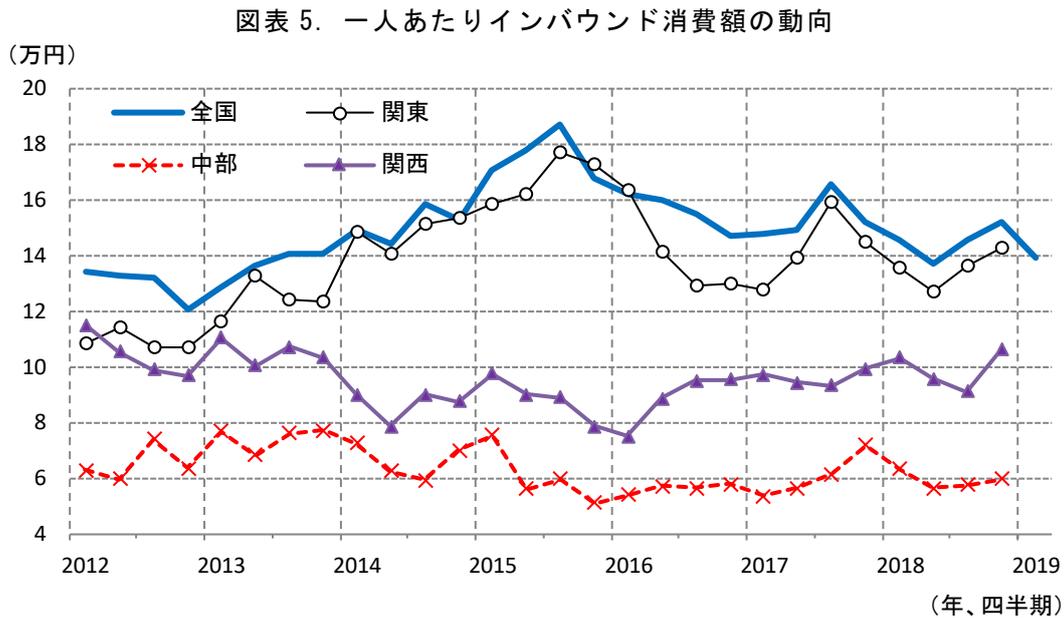
(単位)	2017年		2018年							
	10-12月期		1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期	
	実数 (億円)	前年比 (%)								
滋賀県	7.9	-43.9	16.3	288.9	27.8	94.5	15.2	26.9	22.8	188.2
京都府	638.0	13.9	562.6	35.0	731.5	6.2	733.7	24.8	797.7	25.0
大阪府	2251.9	32.1	2100.5	8.8	2301.0	2.2	1734.6	-23.7	2307.0	2.4
兵庫県	63.8	-34.1	200.4	195.9	143.9	89.1	98.0	15.7	155.3	143.5
奈良県	33.9	39.3	64.0	127.2	59.9	75.6	47.5	-2.4	50.7	49.5
和歌山県	28.1	162.6	22.9	224.2	28.3	69.3	28.7	72.4	28.5	1.7
関西地区	3,024	25.4	2,967	20.9	3,292	6.8	2,658	-12.1	3,362	11.2
関東地区	5,397	32.4	4,890	15.3	5,226	1.1	5,393	-11.5	5,395	0.0
中部地区	678	45.7	506	14.7	567	-2.9	582	-15.1	543	-20.0
全国	11,400	27.8	11,121	14.9	11,333	5.2	11,005	-10.6	11,730	2.9

(注) 2018年より調査方法を変更したため、それ以降の「前年比」は参考値。

¹ 推計方法の詳細は文末記載の参考文献の補論を参照。

(3) 一人あたりインバウンド消費額の動向

インバウンド消費額を訪日外国人数で割った一人あたりインバウンド消費額（消費単価）²については、18年10-12月期の関西は10.6万円と推計される。府県別では、滋賀県4.2万円、京都府3.8万円、大阪府7.9万円、兵庫県3.3万円、奈良県0.7万円、和歌山県2.8万円となった。



(出所)日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。

図表 6. 一人あたりインバウンド消費額の動向（府県別）

(単位)	2017年		2018年							
	10-12月期		1-3月期		4-6月期		7-9月期		10-12月期	
	実数 (万円)	前年比 (%)								
滋賀県	2.1	-42.3	3.6	186.3	4.7	172.4	3.3	-26.2	4.2	98.3
京都府	3.5	2.0	3.2	20.9	3.3	-3.4	3.8	27.4	3.8	8.8
大阪府	8.1	8.4	7.7	-5.2	7.3	-4.8	6.6	-12.5	7.9	-2.0
兵庫県	1.8	-34.0	4.4	148.3	2.7	56.2	2.4	11.3	3.3	85.5
奈良県	0.7	16.5	1.1	72.1	0.8	25.0	0.7	-14.3	0.7	-1.2
和歌山県	3.1	72.8	3.4	162.2	2.7	57.5	3.5	98.4	2.8	-9.1
関西地区	9.9	4.3	10.3	6.1	9.6	1.3	9.1	-2.4	10.6	6.6
関東地区	14.5	11.5	13.6	6.3	12.7	-9.0	13.7	-14.4	14.3	-1.6
中部地区	7.2	24.6	6.3	17.6	5.6	-0.3	5.7	-6.7	6.0	-17.1
全国	15.2	3.4	14.6	-1.4	13.7	-8.3	14.5	-12.1	15.2	-0.2

(注)2018年より調査方法を変更したため、それ以降の「前年比」は参考値。

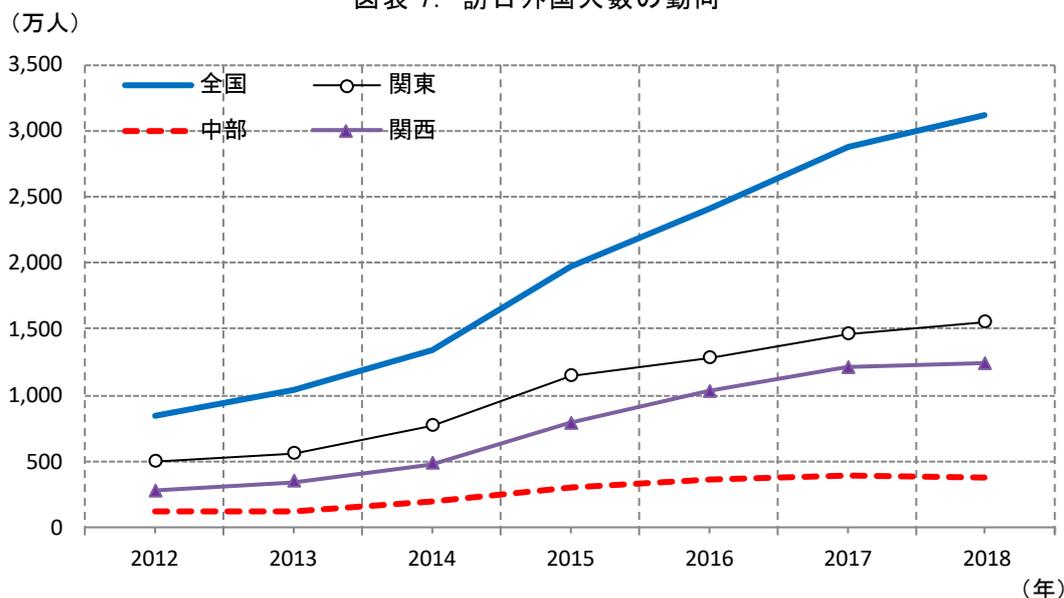
² 消費単価はパッケージツアーに含まれる国内収入分、クルーズ客分を加味したMURCの推計値であり、観光庁「外国人消費動向調査」の消費単価とは異なる。

2. 2018年の関西のインバウンド消費(暦年の動き)

(1) 訪日外国人数の動向

2018年に関西を訪れた外国人数は前年比+2.8%の1,241万人と推計される。関西の訪日外客数はこれまで前年比2桁の大幅増を続けてきたが、18年は関空閉鎖の影響もあって伸び率はこれまでに比べると小幅にとどまった。同年に関西を訪問した外国人数を府県別に見ると、滋賀県20.6万人、京都府803.7万人、大阪府1,142.1万人、兵庫県187.5万人、奈良県279.2万人、和歌山県35.7万人と推計される。伸び率は3年連続で奈良県が最も高かった。

図表7. 訪日外国人数の動向



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。全国は観光庁公表値。

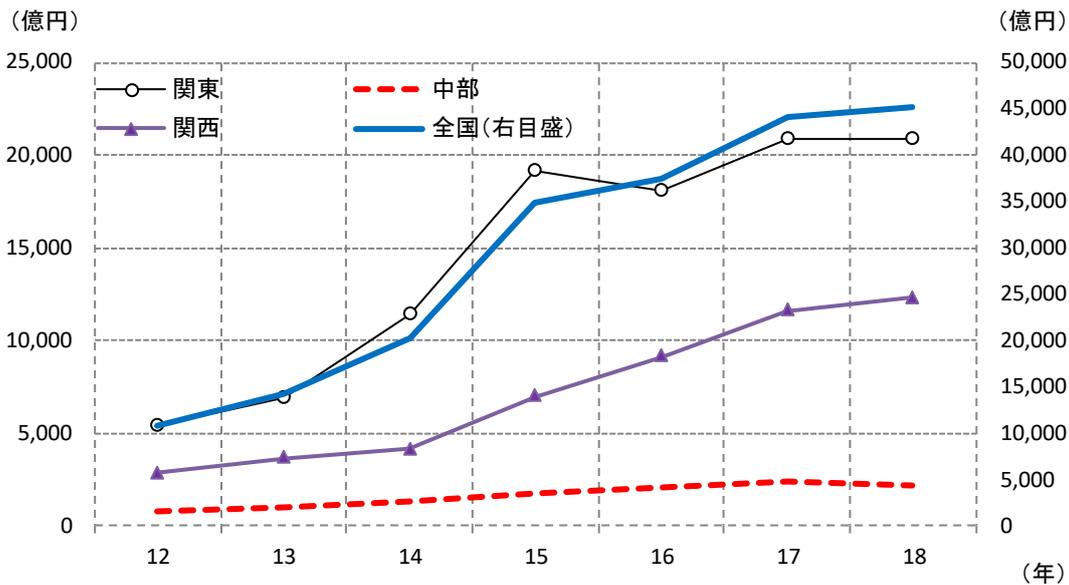
図表8. 訪日外国人数の動向(府県別)

(単位)	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	実数 (万人)	前年比 (%)								
滋賀県	10.1	40.3	12.9	28.0	14.8	14.7	18.1	21.9	20.6	13.9
京都府	294.1	49.9	481.8	63.8	660.4	37.1	741.4	12.3	803.7	8.4
大阪府	373.9	43.8	716.8	91.7	940.5	31.2	1111.4	18.2	1142.1	2.8
兵庫県	82.9	29.3	129.2	55.8	149.3	15.6	158.1	5.9	187.5	18.6
奈良県	66.3	45.4	103.3	55.7	165.4	60.1	209.3	26.5	279.2	33.4
和歌山県	19.7	46.1	23.4	18.6	28.6	22.2	33.8	18.4	35.7	5.5
関西地区	479	38.9	790	64.8	1,024	29.7	1,207	17.8	1,241	2.8
関東地区	768	38.0	1,140	48.3	1,287	12.9	1,458	13.3	1,545	6.0
中部地区	198	57.9	294	49.1	363	23.3	392	8.0	374	-4.7
全国	1,341	29.4	1,974	47.1	2,404	21.8	2,869	19.4	3,119	8.7

(2) インバウンド消費額の動向

2018年の関西のインバウンド消費額は1兆2,275億円と推計される。府県別では、滋賀県81.5億円、京都府2,812.6億円、大阪府8,455.2億円、兵庫県595.9億円、奈良県221.6億円、和歌山県108.1億円と推計される。大阪府の消費額が、(統計のとり方の変更により単純な比較はできないものの)地域別推計開始以来の前年割れとなった。

図表 9. インバウンド消費額の動向



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。全国は観光庁公表値。

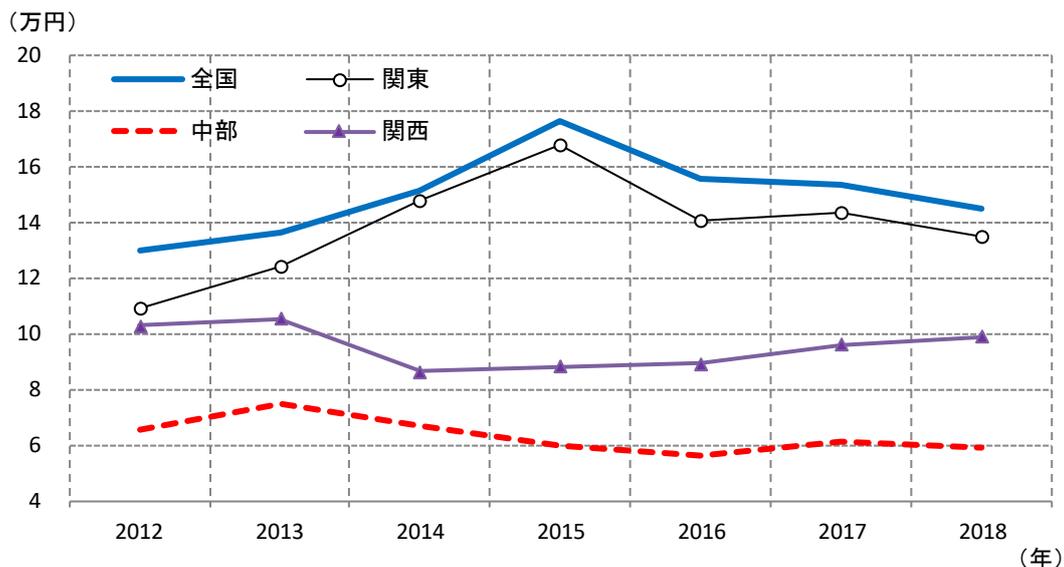
図表 10. インバウンド消費額の動向 (府県別)

(単位)	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	実数 (億円)	前年比 (%)								
滋賀県	33.0	-22.5	47.9	45.2	39.2	-18.2	38.5	-1.8	81.5	111.9
京都府	1133.7	7.4	1867.6	64.7	2036.8	9.1	2339.9	14.9	2812.6	20.2
大阪府	2420.3	19.9	4495.7	85.7	6533.3	45.3	8717.4	33.4	8455.2	-3.0
兵庫県	359.0	-4.0	410.6	14.4	319.5	-22.2	291.7	-8.7	595.9	104.3
奈良県	102.2	26.5	101.5	-0.7	141.7	39.6	144.6	2.1	221.6	53.3
和歌山県	89.5	34.2	48.6	-45.7	62.3	28.3	69.6	11.7	108.1	55.2
関西地区	4,138	13.8	6,972	68.5	9,133	31.0	11,602	27.0	12,275	5.8
関東地区	11,380	64.4	19,172	68.5	18,085	-5.7	20,900	15.6	20,851	-0.2
中部地区	1,327	42.5	1,756	32.3	2,038	16.1	2,394	17.5	2,203	-8.0
全国	20,278	43.1	34,771	71.5	37,476	7.8	44,162	17.8	45,189	2.3

(3) 一人あたりインバウンド消費額の動向

インバウンド消費額を訪日外国人数で割った一人あたりインバウンド消費額（消費単価）³については、18年の関西は9.9万円と推計される。府県別では、滋賀県4.0万円、京都府3.5万円、大阪府7.4万円、兵庫県3.2万円、奈良県0.8万円、和歌山県3.0万円となった。奈良県は宿泊客が少ないこともあって、単価が低い状況が続いている。

図表 11. 一人あたりインバウンド消費額の動向



(出所) 日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数・出国日本人数」、観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとにMURC推計。

図表 12. 一人あたりインバウンド消費額の動向 (府県別)

(単位)	2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	実数 (万円)	前年比 (%)								
滋賀県	3.3	-44.8	3.7	13.4	2.6	-28.7	2.1	-19.4	4.0	86.0
京都府	3.9	-28.4	3.9	0.6	3.1	-20.4	3.2	2.3	3.5	10.9
大阪府	6.5	-16.6	6.3	-3.1	6.9	10.8	7.8	12.9	7.4	-5.6
兵庫県	4.3	-25.7	3.2	-26.6	2.1	-32.7	1.8	-13.8	3.2	72.2
奈良県	1.5	-13.0	1.0	-36.2	0.9	-12.8	0.7	-19.3	0.8	14.9
和歌山県	4.5	-8.1	2.1	-54.2	2.2	5.0	2.1	-5.7	3.0	47.1
関西地区	8.6	-18.1	8.8	2.3	8.9	1.0	9.6	7.8	9.9	3.0
関東地区	14.8	19.2	16.8	13.6	14.1	-16.4	14.3	2.0	13.5	-5.9
中部地区	6.7	-9.8	6.0	-11.2	5.6	-5.9	6.1	8.8	5.9	-3.5
全国	15.1	10.6	17.6	16.5	15.6	-11.5	15.4	-1.3	14.5	-5.9

³ 消費単価はパッケージツアーに含まれる国内収入分、クルーズ客分を加味したMURCの推計値であり、観光庁「外国人消費動向調査」の消費単価とは異なる。

(参考文献)

- ・藤田隼平 塚田裕昭 (2015)「近畿地域におけるインバウンド消費の現状と見通し」三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査レポート

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。